



## ダムは、どんな役割やくわりをしているの

### もともと、水みずをためて、利用りようするために造つくった

川かわの水みずは、季節きせつによって、たくさん流ながれたり、少しだけ流ながれたりすると、変化へんかします。このように変化へんかする川かわの水みずを、いったんためておいて、1年ねんを通して、平均へいきんして使えるようにした建築物けんちくぶつを、ダムといひます。

日本にっぽんでは、弥生時代やよひじだいからイネをつくるために、山やまぞいの小ちいさな谷たにに、農業用のうぎようようのため池いけ(ダム)が造つくられてきました。

古代エジプトでは、紀元前きげんぜん2750年ねんごろ、飲のみみ水みずをためておくための、ダムが造つくられています。

このように、ダムは、古ふるい時代じだいから農業用水のうぎようようすいや、飲いんりょうすい飲料水せいかつようすいなどの生活用水ていを手てに入れるために、造つくられてきたのです。

### 発電はつでんや治水ちすい、および多目的たもくてきダム

その後ご、水力発電すいりょくはつでんが始はじまると、「発電ダム」が建設けんせつされるようになりまし。また、上流じょうりゅうで起こった洪水こうずいを、いったんダムにため、下流かりゅうでの洪水こうずいの被害ひがいを防ふせぐための、「治水ダム」も建設けんせつされるようになりまし。今いまでは、一つのダムに、いろいろな目的もくてきをもたせた、「多目的ダム」がたくさん造つくられています。

日本の川かわは、季節きせつによって、流ながれる水みずの量りようが大きい変化へんかするので、川かわの水みずをためて、川かわの流れながを安定あんていさせることが必要ひつようです。特に、洪水とくこうずいが起こると、川かわに水みずが大量たいりょうに、一いきに流ながれ出でるといふ特徴とくちようをもっているのです。治水ダムが、重要じゅうような役割やくわりをはたしています。

(監修・保岡 孝之)

